



※は必須 記入事項	記入事項
演 題 分 野※ ※いずれかを囲んでください。 (3)⑤は（ ）も記載	(1)「職業教育」の内容や方法（主に実践研究） ①授業技術 ②学生指導 ③企業・地域連携教育（実習教育など） ④卒前卒後教育など (2)(1)以外の「職業教育」全般（主に理論研究） (3)保健福祉領域での専門研究（養成教育に関連する学習内容関連分野） ①介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・音楽療法士・手話通訳士 ②保育士・幼稚園教諭 ③理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 ④柔道整復師・鍼灸師 ⑤その他（ ） (4)(3)以外の領域での職業分野に関する専門研究
発表方法の希望※何れか選択	(1) 10/24 に口演発表 (2) 事前録画し口演発表
演題タイトル※	
発表代表者氏名（ふりがな）※	
発表代表者所属※	
発表者 連名者氏名（所属）	例）日本 花子（職業教育研究開発センター）※複数の場合は、適宜改行してご記入ください。
発表代表者のEメールアドレス ※Zoom 会議室など案内先	メインアドレス※： セカンドアドレス：
当日連絡が取れる 緊急連絡先携帯番号※	
連絡欄 （参加証明が必要な場合 コメントを記載）	
発表のキーワード 分科会構成のために必要となりますので、キーワードを 3 から 5 程度お書きください。 なお報告要旨(抄録集用原稿)の締め切り日は9/23(水・祝)12時です。	

＜抄録集用原稿について＞

抄録本文（項目を含め 1400 字程度目安）

入稿原稿は別途 Word フォーマットがあります。

抄録には【背景】【目的】【意義】【方法】【倫理的配慮（※）】【対象者】【結果】【考察】などの項目をたて、記載をお願いします。（項目をまとめた記載、可。）

・（※）「人を対象とする研究では、所属組織等（学校・学会など）の倫理審査を経て、【倫理的配慮】にその内容を記載してください。

・公表した研究内容の紹介の場合、職業教育研究集会用に既発表資料の紹介として抄録記載をお願いします。

AI 時代の教育を考える
～授業・学び・教員の役割はどう変わるのか～

≪全体会：パネルディスカッション≫

AI の進化は、授業のあり方や教員の役割を大きく変えようとしています。

本シンポジウムでは、生成 AI の現在と可能性・リスクを踏まえ、敬心学園における AI 活用や、オンライン・ICT を活用した授業実践を紹介します。

さらに、AI を教育のパートナーとして捉え、学生の学びや課題・評価、AI 時代に求められる教員の役割や能力について、登壇者とともに考えます。

≪教職員の皆さん、関係者の皆さんへ≫

第 23 回敬心学園職業教育研究集会の演題を、裏面の演題募集要項に基づいて募集します。

遠方を含む多くのご参加・視聴が可能となるように、今回も一堂に集まることはせず、全体会（講演）および分科会（口演発表）を WEB（Zoom）により開催いたします。

＊事前録画による口演発表も募集いたします。

「職業教育」については、専修学校の教育にかかわる研究はすべて対象、様々な学生が在籍する＜専門学校・専門職大学＞としての、実践報告、臨床研究、教育のための背景の調査（研究）などすべてが対象となります。

敬心学園の FD/SD でもある本研究集会の発表では、在職教職員や客員研究員の研究成果を他領域の皆さまも含めて共有していくために、学会などで公表した研究内容の紹介や、ピッチ型発表 インテリム・レポート（中間発表）も対象とします。（※） 日頃考えているテーマの研究報告など、ぜひ発表・紹介をしてみませんか。

（※）通常報告は、研究や業務の事後に行われ、業績の普及を目的としているのに対して、ピッチはアイデア、新商品、資金援助の事前的企画提案を目的とするものです。

開 催 要 項

開催趣旨（目的） 専門学校等を中心とする高等教育機関における「職業教育」の内容や方法の発展に関する研究開発を促進すべく、関連研究に関する情報交換、研究発表の場としてとして開催する。

日 時 2026 年 10 月 24 日（土）10 時～13 時 30 分（閉会予定）

会 場 Z o o m ＊Zoom 会場は、発表者および参加申込者へご連絡いたします。
（敬心学園教職員向けには、ガルーンや各校委員よりご案内いたします。）

資 料 費 なし（抄録等の印刷物配布は、ございません）

プログラム 10：00～ 開会のご挨拶～全体会（講演）
（予定） ＜テーマ＞AI 時代の教育を考える ～授業・学び・教員の役割はどう変わるのか～
登壇者：菊地克彦・中尾好伸・加刈則子（学校法人敬心学園）
外部講師：竹下康平先生（株式会社ビーブリッド）
12：15～ 分科会（口演発表） ～13 時 30 分ごろまでに順次閉会

演 題 募 集 要 項

演題分野は、以下として、公募いたします。

- (1) 「職業教育」の内容や方法（主に実践研究）
①授業技術 ②学生指導 ③企業・地域連携教育（実習教育など） ④卒前卒後教育など
- (2) (1) 以外の「職業教育」全般（主に理論研究）
- (3) 保健福祉領域での専門研究（養成教育に関連する学習内容関連分野）
①介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・音楽療法士・手話通訳士 ②保育士・幼稚園教諭
③理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 ④柔道整復師・鍼灸師 ⑤その他（ ）
- (4) (3) 以外の領域での職業分野に関する専門研究

※なお、既に学会等で行った 発表（報告）の内容を「紹介」いただける場合は、「既発表分の紹介」と明記をしてください。ピッチ型発表 インタリム・レポート（中間発表）も対象です。

演題募集期間・抄録原稿入稿受付期間

演題募集：2026 年 9 月 23 日（水・祝）12 時まで

抄録原稿：2026 年 9 月 23 日（水・祝）12 時まで

＊申込時、分科会構成のために必要とする「キーワード」を記載してください。

＊Zoomによる開催に伴い、当日発表のご応募が多数の場合、事前審査をさせていただく可能性がございますこと、ご了承をお願いします。

演題の応募方法

演題発表（応募）者は、敬心学園内教職員もしくは、職業教育研究開発センターの客員研究員に限ります。

＊研究員登録を希望される方は、HPでご確認いただくかメールにてお問合せをお願いします。

下記の要領により、所定の Microsoft Word へ入力し、メールに添付し送付してください。

- ① 入力項目は、演題分野、演題名、演者氏名、所属機関、電子メールアドレス（発表演者）、電話番号、発表のキーワード（申込用紙フォーマットを使用）。②～⑤は抄録本文の注意です。
- ② 演題名は 12P, サブタイトル・演者名（るび付き）・ご所属は 10. 5P で作成してください。
- ③ 本文は 1400 字程度、文字の大きさは 10P とします。
- ④ 発表演者には○を付け、ふりがなも付けてください。
- ⑤ 共同演者（研究者）がいるときは、氏名の右肩に小文字の数字をつけ、所属機関欄に同一の数字を最初につけ、機関名を記入してください。
- ⑥ 敬心学園ホームページや、学内の教職員はガルーンから申込用紙、抄録用紙をダウンロードしていただき、記入後、メールに添付の上、担当までお送りください。
- ⑦ 受領確認は担当よりメールにてお知らせいたします。

演題の発表形式

< 口演発表 >

- ・10 月 24 日当日の Zoom 発表、または事前録画の発表も可能です。

・発表の録画の実施及び、後日、学園関係者や当日の参加者へ一定期間 録画共有をいたしますことをご了承お願いします。

- ・発表内データ内の著作権者や肖像権などの確認をお願いいたします。
参加（聴講）者への無断転用などのお断りは、申し込み時および抄録内でも実施いたします。
ex) 受信映像や発表資料の保存(画面キャプチャ含む)、録音、再配布などは絶対に行わないでください。
ホームページ上でも、「許可なく発表に使用された画像や資料の保存(画面キャプチャ含む) などは絶対に行わないでください。」などのコメントを記載いたします。

1. 発表時間

- ・発表時間は 1 演題につき 20 分標準（発表＋質疑） をお願いします。（目安：発表 15 分程度ですが、分科会状況により可変します：分科会座長に委任しております。）
当日発表では、全員の発表後に意見交換を行い、適宜終了します。

2. 発表形式・発表用機材

- ・発表は全て Zoom による発表（「画面共有」によるプレゼンテーション）をお願いいたします。
予め Zoom の設定をし、ご自宅・勤務先などからの参加をお願いします。
（上記、発表データ保存注意点など詳細は追ってお知らせします）
- ・事前録画での発表では、予め抄録原稿により視聴者等から質問を収集、ご回答をお願いすることがございます。詳細は追ってお知らせします。

3. 発表用データ

- ・発表用スライドは、Microsoft PowerPoint にて作成をしてください。
- ・発表用 PowerPoint は、ページ設定をワイドにし、作成することを推奨します。
（聴講される方がスマホで見られる可能性がございます）

演題採択結果の通知

採用結果の通知は、2026 年 9 月 30 日(水)までにご連絡いたします。

申し込み及び問い合わせ

学校法人敬心学園 職業教育研究開発センター（担当：^{さわだひでき} 沢田秀樹・^{しみずえり} 清水絵理）

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-6 宇田川ビル 6 階 TEL：03-3200-9074

E-mail：journal@keishin-group.ac.jp ＊お問い合わせは、関係者共有のためメールをお願いします。